

【5年】Unit 1 Hello, everyone.

クラスの友達と仲よくなるために、めいしを作って自己紹介をすることができる。

〔話すこと 発表〕名前や好きなことを言って自己紹介をすることができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ How do you spell it? や What ... do you like? I like などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 名前のつづりや好きなものについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>〔評価項目：語句や表現の使用〕</p>	<p>名前や好きなものについて、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝えている。</p>	<p>名前や好きなものについて、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて</u>、伝えている。</p>	<p>名前や好きなものについて、伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>クラスの友達と仲よくなるために、自分の名前や好きなものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p> <p>〔評価項目：考えの整理・構成〕</p>	<p>クラスの友達と仲よくなるために、自分の名前や好きなものについて、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませて</u>、発表している。</p>	<p>クラスの友達と仲よくなるために、自分の名前や好きなものについて、<u>教科書の例を参考に</u>して、発表している。</p>	<p>クラスの友達と仲よくなるために、一人では、自分の名前や好きなものについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>クラスの友達と仲よくなるために、自分の名前や好きなものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p> <p>〔評価項目：相手意識・伝える工夫〕</p>	<p>クラスの友達と仲よくなるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>クラスの友達と仲よくなるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>クラスの友達と仲よくなるために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとしていることがまだ難しい。</p>

【発話例】

A: Hi.
B: Hi.
A: My name is Nina. I like basketball. Here you are.
B: Thank you. My name is Takumi. I like soccer.
A: You like soccer. I see.
B: Here you are.
A: Thank you.
* 名刺を手渡す際のやり取りに言葉を添えている。
* 相手の言った内容に反応を示す一言を添えている。

【発話例】

A: Hi. My name is Nina. I like basketball.
B: My name is Takumi. I like soccer.
A: Thank you.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
* 単語レベルの発話である。
* 相手に聞こえる声で発話できていない。

【5年】 Unit 2 When is your birthday?

おたがいのことをよく知るために、誕生日などをたずね合うことができる。

【話すこと やり取り】誕生日や誕生日にほしいものをたずね合うことができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ When is your birthday? や What do you want for your birthday? などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 誕生日や誕生日に欲しいものについて伝え合う技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝え合っている。</p>	<p>自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて</u>、伝え合っている。</p>	<p>自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて、伝え合うことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>おたがいのことをよく知るために、誕生日や誕生日に欲しいものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。</p> <p>[評価項目：やり取りの流れ]</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて、相手に伝えたり、<u>相手の話すことに一言加えて返答したりして</u>、伝え合っている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて、相手に伝えたり、<u>相手の話すことに反応する表現を返しながら</u>、伝え合っている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>おたがいのことをよく知るために、誕生日や誕生日に欲しいものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、相手に伝わりやすいように<u>ジェスチャーを工夫して</u>伝えたり、<u>相手の理解度を確かめながら</u>、わかりやすく伝え合おうとしている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、<u>相手に伝わるように</u>伝えたり、<u>相手の話すことにうなづいたりしながら</u>、伝え合おうとしている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、一人では、相手を意識して伝え合おうとすることがまだ難しい。</p>

【発話例】

A: When is your birthday?
 B: My birthday is December 3rd.
 A: Excuse me?
 B: December 3rd.
 A: Oh, I see. What do you want for your birthday?
 B: I want a sweater.
 A: What color do you like?
 B: I like green.
 A: You want a green sweater. OK.

*きき返しをしている。
 *相手の言ったことに反応している。
 *より詳しい情報を引き出そうとしている。
 *相手の言ったことをくり返して確かめている。

【発話例】

A: When is your birthday?
 B: My birthday is December 3rd.
 A: December 3rd. What do you want for your birthday?
 B: I want a sweater.
 A: You want a sweater.

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
 *単語レベルの発話である。
 *相手に聞こえる声で発話できていない。

【5年】 Unit 3 What subjects do you like?

自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」を発表することができる。

〔話すこと 発表〕「わたしの時間割」や、自分の好きな教科を発表することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ What subjects do you like? や What do you have on ...? I have ... などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・好きな教科や時間割について話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>〔評価項目：語句や表現の使用〕</p>	好きな教科や時間割について、 <u>学習した語句や表現に既習のもの</u> を加え、伝えている。	好きな教科や時間割について、 <u>学習した語句や表現のうちいずれか</u> を用いて、伝えている。	好きな教科や時間割について、伝えることがまだ難しい。
思考・判断・表現	<p>自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」を作って簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。</p> <p>〔評価項目：考えの整理・構成〕</p>	自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」について、 <u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませて</u> 、発表している。	自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」について、 <u>教科書の例を参考にして</u> 、発表している。	自分の興味・関心を伝えるために、一人では、「わたしの時間割」について、自分の考えを発表することがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	<p>自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」を作って簡単な語句や基本的な表現を用いて発表しようとしている。</p> <p>〔評価項目：相手意識・伝える工夫〕</p>	自分の興味・関心を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u> 、発表しようとしている。	自分の興味・関心を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u> 、発表しようとしている。	自分の興味・関心を伝えるために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとしていることがまだ難しい。

【発話例】

Hello. Look.
I have P.E., social studies, science, animals, vegetables, and home economics on Thursday.
I have animals on Thursday.
I have vegetables on Thursday, too.
I like animals and vegetables.

* 「わたしの時間割」に注目してもらえるよう、聴衆に呼びかけている。
* オリジナル教科について強調するとともに説明を添えている。

【発話例】

Hello.
I have P.E., social studies, science, animals, vegetables and home economics on Thursday.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
* 単語レベルの発話である。
* 相手に聞こえる声で発話できていない。

【5年】 You can do it! 1 One-minute Talkで相手との共通点を探そう。

おたがいの共通点を見つけるために、先生や友達とやり取りをすることができる。

【話すこと やり取り】 相手と自分との共通点を見つけるために、その場でやり取りすることができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・Unit 1～3 で学習した What ... do you like? や When is your birthday? などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて伝え合う技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて、 <u>既習の語句や表現を十分に活用して</u> 、伝え合っている。	好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて、 <u>既習の語句や表現のうちいずれかを用いて</u> 、伝え合っている。	好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて、伝え合うことがまだ難しい。
思考・判断・表現	<p>おたがいの共通点を見つけるために、話題を選んで、簡単な語句や基本的な表現を用いて、先生や友達と1分間のやり取りをしている。</p> <p>[評価項目：やり取りの流れ]</p>	おたがいの共通点を見つけるために、好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて、相手に伝えたり、 <u>相手の話すことに一言加えて返答したりして</u> 、伝え合っている。	おたがいの共通点を見つけるために、好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて、相手に伝えたり、 <u>相手の話すことに反応する表現を返しなが</u> ら、伝え合っている。	おたがいの共通点を見つけるために、一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	<p>おたがいの共通点を見つけるために、話題を選んで、簡単な語句や基本的な表現を用いて、先生や友達と1分間のやり取りをしようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	おたがいの共通点を見つけるために、相手に伝わりやすいように <u>ジェスチャーを工夫して</u> 伝えたり、 <u>相手の理解度を確かめなが</u> ら、わかりやすく伝え合おうとしている。	おたがいの共通点を見つけるために、 <u>相手に伝わるように</u> 伝えたり、 <u>相手の話すことにうなづいたりしながら</u> 、伝え合おうとしている。	おたがいの共通点を見つけるために、一人では、相手を意識して伝え合おうとすることがまだ難しい。

【発話例】

ALT: Hello.
S: Hello. What subjects do you like?
ALT: Well... I like P.E.
S: You like P.E. I like P.E.,too. I like sports very much. How about you?
ALT: Me, too. I like rugby.
S: Oh, you like rugby. I see. I like swimming.
ALT: Oh, you like swimming. Nice.
S: I like your T-shirt.
ALT: Thank you.
S: Do you like blue?
ALT: Yes. I like blue very much.
S: I like blue, too.
*相手の言ったことを繰り返して確認している。
*自分の好きなものの理由を説明している。
*理由を伝えた後、相手にもたずね、会話を続けようとしている。
*話題を探して、会話を続けようとしている。

【発話例】

ALT: Hello.
S: Hello. What subjects do you like?
ALT: I like P.E.
S: I like P.E.,too. What sport do you like?
ALT: I like rugby.
S: I see. Do you like sports?
ALT: Yes. I like sports. How about you?
S: I like sports, too

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
*単語レベルの発話である。
*相手に聞こえる声で発話できていない。

【5年】 Unit 4 He can run fast. She can do *kendama*.

友達や先生のことをよく知るために、できることをヒントにしたクイズを発表できる。

[話すこと 発表] 身近な人のできることやできないことを紹介することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ Can you ...? や He/She can/can't などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 友達や先生ができることやできないことについて話す技能を身につけている。</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>友達や先生ができることやできないことについて、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝えている。</p>	<p>友達や先生ができることやできないことについて、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて</u>、伝えている。</p>	<p>友達や先生ができることやできないことについて、伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>友達や先生のことをよく知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いてクイズを作り、発表している。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>友達や先生のことをよく知るために、できることやできないことについて、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませて</u>、クイズを作り、発表している。</p>	<p>友達や先生のことをよく知るために、できることやできないことについて、<u>教科書の例を参考にして</u>、クイズを作り、発表している。</p>	<p>友達や先生のことをよく知るために、一人では、できることやできないことについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>友達や先生のことをよく知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いてクイズを作り、発表しようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>友達や先生のことをよく知るために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>友達や先生のことをよく知るために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>友達や先生のことをよく知るために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとしていることがまだ難しい。</p>

【発話例】

A: Hello, everyone. We have a quiz.
Look. This is our teacher.
 B: She can't dance.
 C: She can sing well. Who is she?
 (S1: She is Ms. Nishida?)
 D: No.
 (S2: Hint, please.)
 D: She can play the piano. She can't ride a unicycle.
 (S3: She is Ms. Kita?)
 A: Yes, she is. She is Ms. Kita.
 (S3: Oh, I see.)

* 聴衆に効果的に呼びかけている。
 * 即興で複数のヒントを追加している。

【発話例】

A: This is our teacher.
 B: She can't dance.
 C: She can sing well.
 D: She can play the piano. Who is she?
 (S: She is Ms. Kita?)
 A: Yes. She is Ms. Kita.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
 * 単語レベルの発話である。
 * 相手に聞こえる声で発話できていない。

【5年】 Unit 5 My hero is my brother.

自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人を紹介することができる。

[書くこと] 人の職業や性格などについて書くことができる。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ Who is this? や He/She is などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ あこがれの人の家族関係、職業、性格などを伝える文を4線上に書く技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>あこがれの人について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、語順に注意して<u>正しく</u>書いている。</p>	<p>あこがれの人について、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを</u>用いて、語順に注意して書いている。</p>	<p>あこがれの人について、書くことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人の職業や性格などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませて</u>、あこがれの人についての紹介文を書いている。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、<u>教科書の例を参考にして</u>、あこがれの人についての紹介文を書いている。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、一人では、あこがれの人についての紹介文を書くことがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人の職業や性格などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、<u>読み手に伝わりやすいように、丁寧に書いたり、読み返して書き直したりして、正しく書こうとしている。</u></p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、<u>読み手に伝わりやすいように、丁寧に書こうとしている。</u></p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、一人では、読み手に伝わるように書こうとすることがまだ難しい。</p>

【文例】

(My Hero)
 (Name:) Abe Uta
 She is an athlete.
She can do Judo.
 She is strong and brave.
She is cute, too.

*より詳しい情報を付け加えている。

【文例】

(My Hero)
 (Name:) Abe Uta
 She is an athlete.
 She is brave.

【改善点を含む文例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を書くことが難しい。

【5年】 Unit 5 My hero is my brother.

自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人を紹介することができる。

〔話すこと 発表〕人の職業や性格などを言って、あこがれの人を紹介することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ Who is this? や He/She is などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ あこがれの人について家族関係や職業や性格などを話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>〔評価項目：語句や表現の使用〕</p>	<p>あこがれの人について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝えている。</p>	<p>あこがれの人について、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて</u>、伝えている。</p>	<p>あこがれの人について、伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人々の職業や性格などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。</p> <p>〔評価項目：考えの整理・構成〕</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人について、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませて</u>、発表している。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人について、<u>教科書の例を参考に</u>して、発表している。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、一人では、あこがれの人について、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人々の職業や性格などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表しようとしている。</p> <p>〔評価項目：相手意識・伝える工夫〕</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとしていることがまだ難しい。</p>

【発話例】

Hello, everyone.
Look at this.
 She is Abe Uta.
 She is an athlete.
She can do judo very well.
 She is strong and brave.
She is cute, too.
She is my hero.

*聴衆に呼びかけ、注意を引いている。
 *より詳しい情報を付け加えている。

【発話例】

My Hero is Abe Uta.
 She is an athlete.
 She is brave.

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
 *単語レベルの発話である。
 *相手に聞こえる声で発話できていない。

【5年】 Unit 6 Where is the library?

だれもが住みやすい町を考えて、「理想の町」を案内し合うことができる。

【話すこと やり取り】「理想の町」を道案内するやり取りをすることができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ Where is ...? や It's on/in/under/by や Go straight for Turn right/left などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 室内のものや町の施設について、それがあある場所や道順などを伝え合う技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>室内のものや町の施設について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝え合っている。</p>	<p>室内のものや町の施設について、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて</u>、伝え合っている。</p>	<p>室内のものや町の施設について伝え合うことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>だれもが住みやすい「理想の町」を考え、簡単な語句や基本的な表現を用いて道案内をしている。</p> <p>[評価項目：やり取りの流れ]</p>	<p>「理想の町」を案内するために、町の施設や道順について、相手に伝えたり、<u>相手の話すことに一言加えて返答したりして</u>、伝え合っている。</p>	<p>「理想の町」を案内するために、町の施設や道順について、相手に伝えたり、<u>相手の話すことに反応する表現を返しなが</u>ら、伝え合っている。</p>	<p>「理想の町」を案内するために、一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>だれもが住みやすい「理想の町」を考え、簡単な語句や基本的な表現を用いて道案内をしようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>「理想の町」を案内するために、相手に伝わりやすいように<u>ジェスチャーを工夫して伝えたり、相手の理解度を確かめなが</u>ら、わかりやすく伝え合おうとしている。</p>	<p>「理想の町」を案内するために、<u>相手に伝わるように伝えたり、相手の話すことにうなづいたりしながら</u>、伝え合おうとしている。</p>	<p>「理想の町」を案内するために、一人では、相手を意識して伝え合おうとすることがまだ難しい。</p>

【発話例】

A: Welcome to our town.
 B: Look. This is a big park. It's Rainbow Park. You can enjoy skateboarding.
 S: That's nice. Where is the park?
 A: (ジェスチャーを加えながら) Go straight. Turn right at the second corner. You can see it on your left.
 S: Go straight. Turn right at the second corner. I can see it on my left. OK?
 A: That's right.

*考えた施設について、詳しい説明を加えている。
 *ジェスチャーを加えて、相手に伝わりやすいように工夫している。
 *案内された道順を繰り返して確認している。

【発話例】

A: Welcome to our town.
 B: Look. This is Rainbow Park.
 S: That's nice. Where is the park?
 A: Go straight. Turn right at the second corner. You can see it on your left.
 S: OK. Thank you.
 A: You're welcome.

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
 *単語レベルの発話である。
 *相手に聞こえる声で発話できていない。

【5年】 You can do it! 2 Everyone Is Specialの詩を作ろう。

おたがいのちがいをみとめ合う詩を作って、発表することができる。

[書くこと] おたがいのちがいをみとめ合う詩を作ることができる。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ Unit 4～5 で学習した I can/can't や He/She can/can't などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 語句をなぞったり書き写したりして、自分や身近な人ができることやできないことを伝える文を書く技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>自分や身近な人ができることやできないことについて、<u>既習の語句や表現を十分に活用して</u>、語順に注意して<u>正しく</u>書いている。</p>	<p>自分や身近な人ができることやできないことについて、<u>既習の語句や表現のうちいずれかを</u>用いて、語順に注意して書いている。</p>	<p>自分や身近な人ができることやできないことについて、書くことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>おたがいのことをよく知るために、ワークシートに語句を書き入れて、自分と相手の違いを認め合う詩を作っている。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、<u>教科書の例を参考にしながら</u>、内容を膨らませて、Everyone Is Specialの詩を書いている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、<u>教科書の例を参考に</u>して、Everyone Is Specialの詩を書いている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、一人では、Everyone Is Specialの詩を書くことがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>おたがいのことをよく知るために、ワークシートに語句を書き入れて、自分と相手の違いを認め合う詩を作ろうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、読み手に伝わりやすいように、<u>丁寧に書いたり、読み返して書き直したりして、正しく書こう</u>としている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、読み手に伝わりやすいように、<u>丁寧に書こう</u>としている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、一人では、読み手に伝わるように書こうとすることがまだ難しい。</p>

【文例】
 (Everyone Is Special)
 I'm Riya.
I can't play soccer.
I can run fast.
I can't play the violin.
I can play the piano.
 I'm special.

 This is Sora.
He can't run fast.
He can dance well.
He can't play the piano.
He can play the recorder.
 He is amazing.

* できること・できないことについて、対比させて書いている。

【文例】
 (Everyone Is Special)
 I'm Riya.
 I can't play soccer.
 I can cook well.
 I'm special.

 This is Sora
 He can't cook well.
 He can dance well.
 He is amazing.

【改善点を含む文例】
 * 教科書で繰り返し出てくる学習表現を書くことが難しい。

【5年】 You can do it! 2 Everyone Is Specialの詩を作ろう。

おたがいのちがいをみとめ合う詩を作って、発表することができる。

〔話すこと 発表〕おたがいのちがいをみとめ合う詩を作って、発表することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・Unit 4~5 で学習した I can/can't や He/She can/can't などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・自分や身近な人ができることやできないことについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>〔評価項目：語句や表現の使用〕</p>	自分や身近な人ができることやできないことについて、 <u>既習の語句や表現を十分に活用して</u> 、伝えている。	自分や身近な人ができることやできないことについて、 <u>既習の語句や表現のうちいずれかを用いて</u> 、伝えている。	自分や身近な人ができることやできないことについて、伝えることがまだ難しい。
思考・判断・表現	<p>おたがいのことをよく知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分と身近な人の違いを認め合う詩を作って発表している。</p> <p>〔評価項目：考えの整理・構成〕</p>	おたがいのことをよく知るために、おたがいのよさについて、 <u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませて</u> 、発表している。	おたがいのことをよく知るために、おたがいのよさについて、 <u>教科書の例を参考に</u> して、発表している。	おたがいのことをよく知るために、一人では、おたがいのよさについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	<p>おたがいのことをよく知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分と身近な人の違いを認め合う詩を作って、発表しようとしている。</p> <p>〔評価項目：相手意識・伝える工夫〕</p>	おたがいのことをよく知るために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>ジェスチャーや発表資料を工夫して発表しよう</u> としている。	おたがいのことをよく知るために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u> 、発表しようとしている。	おたがいのことをよく知るために、一人では、聞き手に伝わるように発表しようとしていることがまだ難しい。

【発話例】

(Everyone is special.)
I'm Riya.
I can't play soccer.
I can cook well.
I can't play the violin.
I can play the piano.
I can play the ABC song.
I'm special.

This is Sora.
He can't cook well.
He can dance well.
He can't play the piano.
He can play the recorder.
He can play the ABC song, too.
He is amazing.
*ワークシートに書いてある以上のことを、内容を膨らませて伝えている。

【発話例】

(Everyone is special.)
I'm Riya.
I can't play soccer.
I can cook well.
I'm special.

This is Sora
He can't cook well.
He can dance well.
He is amazing.

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
*ワークシートに書いてある内容を伝えることができない。

【5年】 Unit 7 What would you like?

ちいきの名産品を広めるために、オリジナル料理を考えて注文し合うことができる。

【話すこと やり取り】料理を注文したり、ねだんをたずね合ったりするやり取りをすることができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・What would you like? や How much is it? などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・丁寧な言い方で料理を注文し合ったり、値段をたずね合ったりする技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>オリジナル料理について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝え合っている。</p>	<p>オリジナル料理について、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて</u>、伝え合っている。</p>	<p>オリジナル料理について、伝え合うことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>地域の名産品を広めるために、オリジナル料理を考えて、簡単な語句や基本的な表現を用いて注文し合っている。</p> <p>[評価項目：やり取りの流れ]</p>	<p>地域の名産品を広めるために、オリジナル料理について、相手に伝えたり、<u>相手の話すことに一言加えて返答したりして</u>、伝え合っている。</p>	<p>地域の名産品を広めるために、オリジナル料理について、相手に伝えたり、<u>相手の話すことに反応する表現を返しながら</u>、伝え合っている。</p>	<p>地域の名産品を広めるために、一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>地域の名産品を広めるために、オリジナル料理を考えて、簡単な語句や基本的な表現を用いて注文し合おうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>地域の名産品を広めるために、相手に伝わりやすいように<u>ジェスチャーを工夫して</u>伝えたり、<u>相手の理解度を確かめながら</u>、わかりやすく伝え合おうとしている。</p>	<p>地域の名産品を広めるために、相手に伝わるように伝えたり、<u>相手の話すことにうなづいたりしながら</u>、伝え合おうとしている。</p>	<p>地域の名産品を広めるために、一人では、相手を意識して伝え合おうとすることがまだ難しい。</p>

【発話例】

A: Hello. Welcome to our restaurant. You can enjoy Fukuoka food. Look at the menu.
 BC: Thank you.
 D: This is *Kara Chiki Don*. It's rice with chicken, onion, chili sauce and mentaiko. It's spicy.
 B: How much is it?
 D: It's 450 yen.
 A: This is *Amao parfait*. It's strawberries, pudding and ice cream. It's sweet.
 C: It's nice! How much is it?
 A: It's 500 yen. What would you like?
 B: Let's see. I'd like *Amao Parfait*.
 C: I'd like *Kara Chiki Don*.
 D: Sure.

*オリジナル料理について、詳しい説明を加えている。
 *会話を続けるための一言を加えている。

【発話例】

A: Hello. Welcome to our restaurant.
 BC: Thank you.
 D: This is *Kara Chiki Don*.
 B: How much is it?
 D: It's 450 yen.
 A: This is *Amao parfait*.
 C: How much is it?
 A: It's 500 yen. What would you like?
 B: I'd like *Amao Parfait*.
 C: I'd like *Kara Chiki Don*.
 D: OK.

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
 *単語レベルの発話である。
 *相手に聞こえる声で発話できていない。

【5年】 Unit 8 This is my town.

自分の町のみにょくを伝えるために、パンフレットを作って紹介することができる。

【書くこと】 町にあるものやそこでできることについて、書くことができる。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ We have や You can see/eat/enjoy ...などの表現や関連語句を理解している。 《知識》</p> <p>・ 町にあるものや町でできることを伝える文を4線以上に書く技能を身につけている。 《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>自分の町について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え、語順に注意して正しく書いている。</u></p>	<p>自分の町について、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて、語順に注意して書いている。</u></p>	<p>自分の町について、書くことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>自分の町の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、町紹介のパンフレットを書いている。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませて、町紹介のパンフレットを書いている。</u></p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、<u>教科書の例を参考に、町紹介のパンフレットを書いている。</u></p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、一人では、町紹介のパンフレットを書くことがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>自分の町の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、町紹介のパンフレットを書こうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、<u>読み手に伝わりやすいように、丁寧に書いたり、読み返して書き直したりして、正しく書こうとしている。</u></p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、<u>読み手に伝わりやすいように、丁寧に書こうとしている。</u></p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、一人では、読み手に伝わりやすいように書こうとすることがまだ難しい。</p>

【文例】

Welcome to Kumagaya.
This is our town.
We have Kumagaya Sakura
Tsutsumi.
You can see cherry blossoms.
You can eat *choco banana*.
It's delicious.
*紹介したい事柄について、内容を膨らませて書いている。

【文例】

Welcome to Kumagaya.
We have Kumagaya Sakura
Tsutsumi.
You can see cherry blossoms.

【改善点を含む文例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を書くことが難しい。

[5年] Unit 8 This is my town.

自分の町のみによく伝えるために、パンフレットを作って紹介することができる。

[話すこと 発表] 町にあるものやそこでできることを紹介することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ We have や You can see/eat/enjoy ... などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 町にあるものや町でできることについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>自分の町のよいところについて、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝えている。</p>	<p>自分の町のよいところについて、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを</u>用いて、伝えている。</p>	<p>自分の町のよいところについて、伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>自分の町の魅力を伝えるために、町にあるものや町でできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、町のよいところについて、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませて</u>、発表している。</p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、町のよいところについて、<u>教科書の例を参考にして</u>、発表している。</p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、一人では、町のよいところについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>自分の町の魅力を伝えるために、町にあるものや町でできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>自分の町の魅力を伝えるために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとしていることがまだ難しい。</p>

【発話例】

A: Hello. Welcome to our town, Kumagaya. I like our town very much.
 B: Look at this. We have Kumagaya Sakura Tsutsumi. This is my favorite place.
 C: Do you like cherry blossoms? You can see beautiful cherry blossoms there. It's wonderful.
 ABC: Come and visit us. Thank you.

- * パンフレットに書いた内容以上のことを伝えている。
- * 紹介する場所について、内容を膨らませて話している。
- * 聴衆に呼びかけている。

【発話例】

A: Hello. Welcome to Kumagaya.
 B: We have Kumagaya Sakura Tsutsumi.
 C: You can see cherry blossoms. Thank you.

【改善点を含む発話例】

- * 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
- * 単語レベルの発話である。
- * 相手に聞こえる声で発話できていない。

【5年】 You can do it! 3 ちいきのみりよくを伝えるチャンツを作ろう。

ちいきのみりよくを伝えるために、チャンツを作って発表することができる。

[話すこと 発表] ちいきのみりよくを伝えるために、チャンツを作って発表することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・Unit8 で学習した We have や You can see/eat などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・自分の地域にあるものやそこでできることについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	自分の地域にあるものやそこでできることについて、 <u>既習の語句や表現を十分に活用して</u> 、伝えている。	自分の地域にあるものやそこでできることについて、 <u>既習の語句や表現のうちいずれかを用いて</u> 、伝えている。	自分の地域にあるものやそこでできることについて、伝えることがまだ難しい。
思考・判断・表現	<p>地域の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、地域を紹介するチャンツを作って発表している。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	地域の魅力を伝えるために、自分の住む地域について、 <u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませて</u> 、チャンツを作り、発表している。	地域の魅力を伝えるために、自分の住む地域について、 <u>教科書の例を参考に</u> して、チャンツを作り、発表している。	地域の魅力を伝えるために、一人では、自分の住む地域について、チャンツを作って発表することがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	<p>地域の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、地域を紹介するチャンツを作って発表しようとしている。</p> <p>[相手意識・伝える工夫]</p>	地域の魅力を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u> 、発表しようとしている。	地域の魅力を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u> 、発表しようとしている。	地域の魅力を伝えるために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとするのがまだ難しい。

【発話例】

Welcome to Hokkaido.
We have a popular zoo.
You can see penguins.
Come and visit us.
Thank you.

Welcome to Hokkaido.
We have a beautiful lake.
You can see *marimo*.
Come and visit us.
Thank you.

* 2 番まで作り、より詳しい情報を伝えようとしている。
* 発表資料に工夫をこらしている。

【発話例】

Welcome to Hokkaido.
We have a popular zoo.
You can see penguins.
Come and visit us.
Thank you.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
* チャンツの歌詞を作成することが難しい。